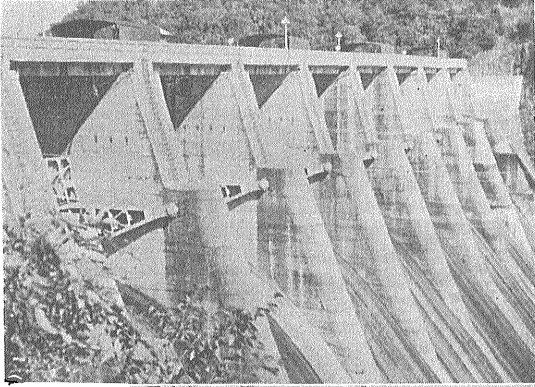
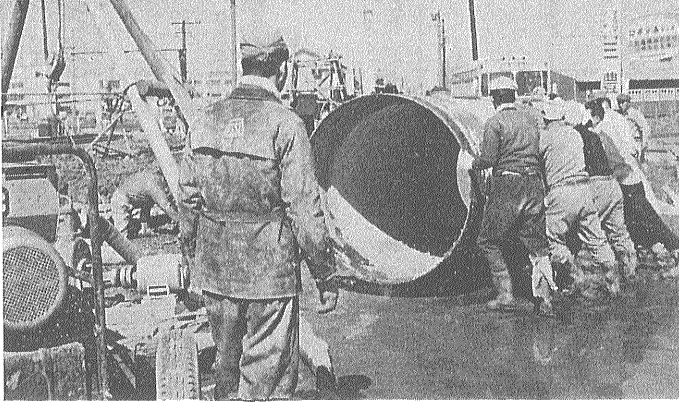


建設進む工業用水道



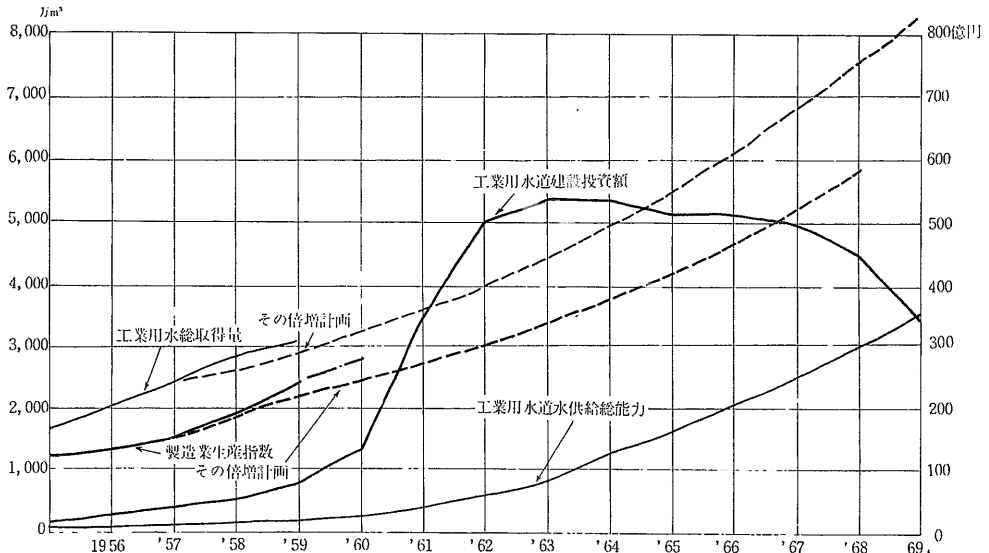
↑ 工業用水専用ダム（厚東川）



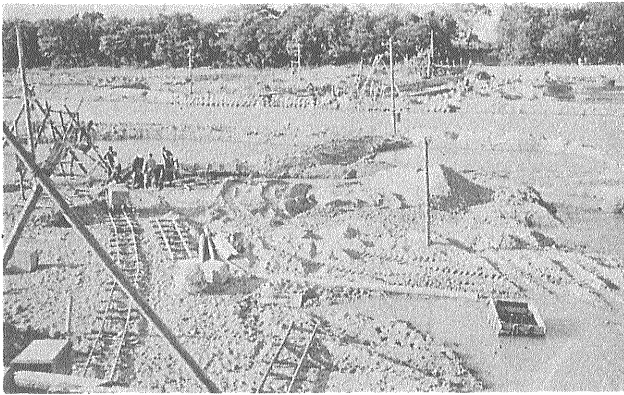
↑ 工業用水道管布設（尼崎）

← 水道管布設に大わらわの工事現場（川崎）

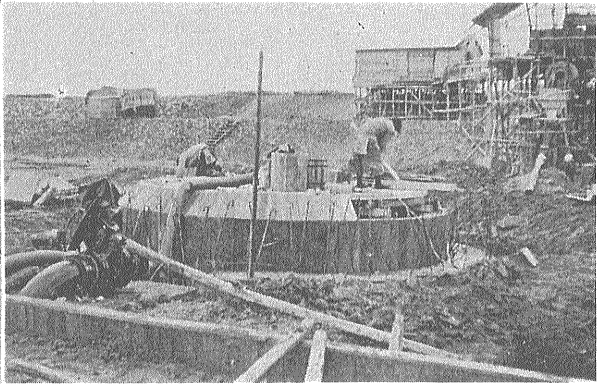
工業用水道整備10カ年計画と所得倍増計画



(工業用水総取得量 工業用水道水供給総能力は単位万 m^3 /日左側参照
工業用水道建設投資額は単位億円 生産指数とともに右側参照)



河床下に集水暗渠の埋設（四口市）



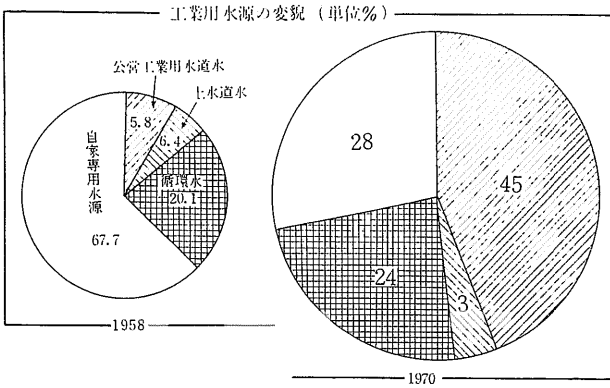
大規模集水片の工事（富山）

工業用水道名	建設工事 施行年次 (昭和)	給水量 m ³ /日	1 m ³ 当り建設費 円
川崎市	31	20,000	9,600
川崎市	33	15,000	10,000
横浜市	32~34	100,000	11,330
横浜市	34	17,000	9,880
愛知県管	31~36	86,000	16,000
名古屋市	33~35	70,000	10,320
北伊勢	31~32	45,000	17,380
北伊勢	33~38	250,000	16,400
大阪市	30~31	3,000	3,900
大阪市	32~33	40,000	11,520
大阪市	34~37	160,000	15,900
大阪府管	34~36	55,000	18,000
尼崎市	31~33	60,000	8,170
北九州	32~34	70,000	13,500

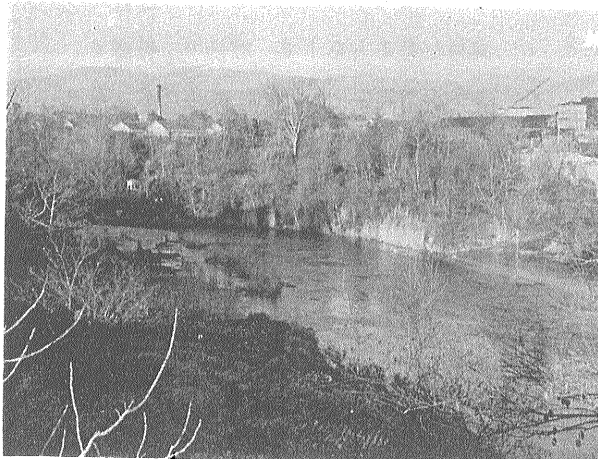
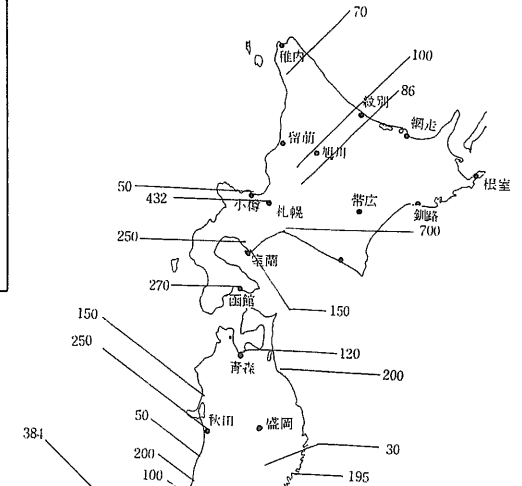
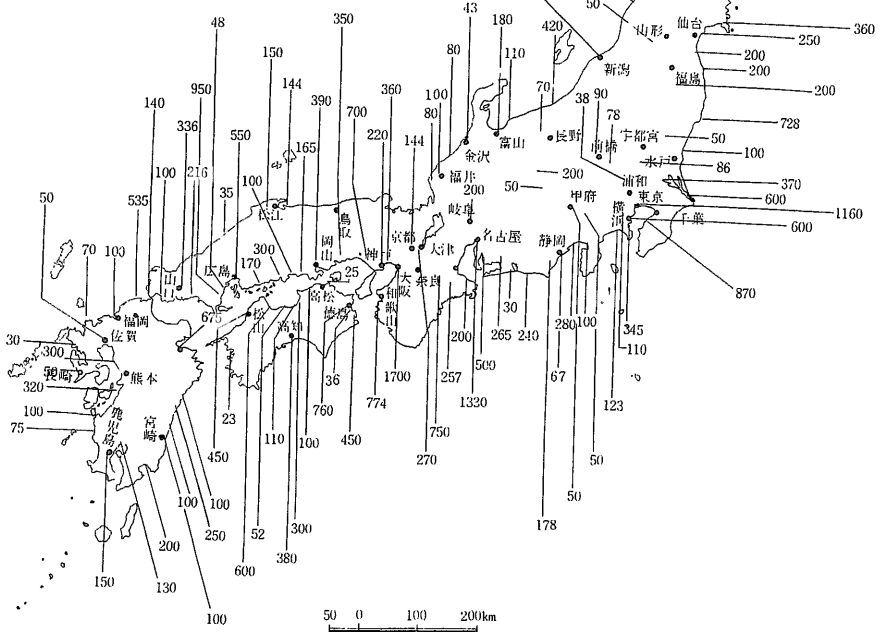
←
地盤沈下などを生じている既
存の重工業地帯
1956年以降建設の工業用水道
給水m³当り建設コスト

→
いわゆるベルト地帯に属する
工業都市 比較的新しい工業
開発地帯などにおける 1956年
以降建設の工業用水道給水m³
当り建設コスト

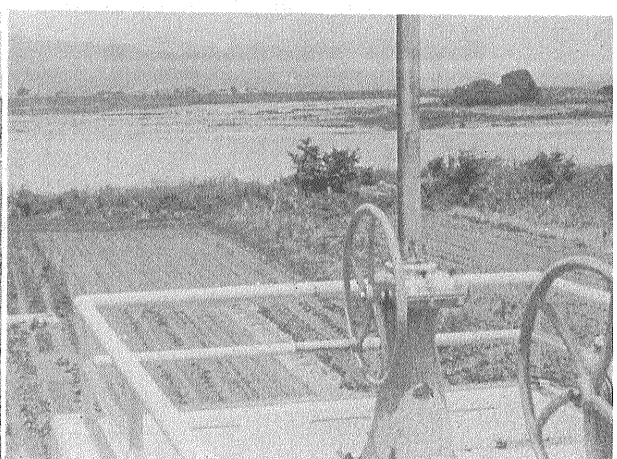
工業用水道名	建設工事 施行年次 (昭和)	給水量 m ³ /日	1 m ³ 当り建設費 円
秋田市	32	27,000	7,780
秋田市	35	10,000	7,000
仙塩	32~36	100,000	10,900
磐城	33~36	128,600	11,200
相模原市	35	5,000	7,800
静岡清	36~38	67,000	7,400
富山市	32~33	30,000	9,300
富山市	35	50,000	5,000
恵那市	35	30,000	500
紀の川	31~33	20,000	17,500
和歌山市	31~32	30,000	8,450
和歌山市	33~37	155,000	5,200
岡山市	33~37	100,000	7,000
呉市	31~32	22,000	6,140
呉市	35~36	38,000	6,300
小瀬川	33~37	146,400	4,460
徳山・南陽	33~36	48,000	17,300
松山市	30~31	30,000	6,000
松山市	35	33,300	7,800
松山市	36	31,620	7,700
大分・鶴崎	33~35	125,000	5,880
大分・鶴崎	36~38	125,000	5,960



工業用水道整備10年計画 (1961年末策定) によると昭和45年 (1970年) にはこれだけの給水規模の工業用水道ができあがる (数字単位 × 1,000 m³/日)



柿田川



和歌山